

日本ローイング協会と日本スポーツ振興センターとの包括的連携に関する 基本合意書の締結について

このたび、日本ローイング協会（JARA）と日本スポーツ振興センター（JSC）は、包括連携に関する基本合意書を締結し、3月26日に調印を行いましたこととお知らせいたします¹。本合意書は、JSCとワールドローイング（※）との間で、バーチャルスポーツに関する国際共同研究で得られた知見の共有を基盤として推進してまいります。

（※）ローイング競技の国際統括団体。1892年設立、159の国・地域が加盟。



締結式の模様（左から、JARA 坂田東一会長、ワールドローイング
ジャン＝クリストフ・ロラン会長、JSC 芦立訓理事長）

本件に関する問合せ先：JARA 企画・戦略委員会（Eメール：senryaku@jara.or.jp）

¹ 調印翌日の3月27日、JARAでは、ローイングの将来に関する最新情報を共有するためフォーラムを開催しました。当日の模様については、以下のリンクより視聴が可能です。ワールドローイングのジャン＝クリストフ・ロラン会長の講演（逐次通訳あり）や、JARAとJSCの包括的連携についてのプレゼンテーションなどをご覧くださいことができます。

日本ローイング協会と日本スポーツ振興センターとの包括的連携について

1. 背景・経緯

近年、バーチャルスポーツは急速に発展し、社会に大きな影響を与えている。スポーツ界においても、バーチャルスポーツや E スポーツとの連携が進んでおり、2021 年のオリンピックバーチャルシリーズや 2023 年にシンガポールで開催されたオリンピック E スポーツウィークがその一例である。これを受けて、IOC は E スポーツ委員会を設置し、2027 年にサウジアラビアでオリンピック E スポーツゲームズが開催されることが決定された。

ワールドローイングは、インドアローイング世界選手権の開催やバーチャルローイングの普及に数年にわたり取り組んでいる。前述のオリンピックバーチャルシリーズやオリンピック E スポーツウィークにも参画し、IOC との連携を強化しながらバーチャルスポーツの発展に積極的に取り組んでいる。

このような国際的な動向を踏まえ、2023 年 11 月 14 日、日本スポーツ振興センター（JSC）とワールドローイングは、バーチャルスポーツに関する国際共同研究を目的とする連携協定覚書を締結した。日本ローイング協会は、この枠組みにおいて昨年 JSC が開催したバーチャルスポーツフォーラムや令和 6 年度「スポーツの日」中央記念行事 スポーツ祭り 2024 でのバーチャルローイング体験会に協力してきた。

2. 基本合意書の締結について

今後、JSC とワールドローイングは体験会に留まらず、バーチャルローイングにおけるスポーツ医・科学の活用を見据えた連携をさらに推進する予定である。日本ローイング協会が、この国際共同研究で得られた知見を国際競技力向上の取り組みや競技の振興に活用することはローイング競技の普及・発展に非常に有益であると考えられる。このことから、バーチャルローイングの分野において国際競技力向上等に向けた JSC との包括的連携に関する基本合意書を締結することとしたもの。

3. JSC が日本ローイング協会に協力すること

- ワールドローイングとの国際共同研究の知見を共有する。
- 国際共同研究等から得られたバーチャルスポーツに関する知見を日本ローイング協会へ提供するとともに、スポーツ医・科学の見地から支援する。
- 日本ローイング協会もしくは日本ローイング協会がワールドローイングと行うローイング競技の振興に関し、バーチャルスポーツにおけるスポーツ医・科学の見地から支援する。

4. 日本ローイング協会が JSC に協力すること

- JSC とワールドローイングが実施するバーチャルローイング分野の国際共同研究に関して、可能な範囲で最大限の協力を行う。